

## 平成30年度 年間事業計画

### 陣原保育所

平成30年度は、改定保育所保育指針の施工やキャリアアップ研修の実施など保育士等にとって大きな節目の年となる。保育所保育指針においては、特に乳幼児期の保育の重要性から小学校への接続までの育ちを踏まえた保育計画等記載内容の充実や子育て支援の章の新設などが見直された。また、本年度から本格的に実施されるキャリアアップ研修について、保育士等の研修受講計画策定など保育所（園）の課題が残されている。

保育所保育指針が改定されたことを機に、保育士が再度、子どもたちとの関わり方を見直し、改定保育所保育指針に則って保育を進めていきたい。

また、保育士の負担軽減の為、本年度からシルバー人材センターに清掃業務等を委託する。

#### 【平成30年度の重点的な取り組み事項】

##### 1. 保育内容の向上

- (1) キャリアアップ研修等に参加し、保育士等が研修内容を全職員に周知して保育の質の向上を図る。
- (2) 気になる子どもへの関わり方について、専門機関や保護者と連携を取りながら、子どもたちが生活しやすいよう配慮できる環境（人的・物的）づくりをする。
- (3) 当法人内6施設における研修の取り組み
  - ・処遇改善等加算対象職員に対し、法人内研修を年4回実施し、各担当分野の職務内容について職員がより深い知識を持てるよう研修を実施する。
  - ・研修会場は各施設を利用し、自園との違い等を見ることで環境や配置に関心を持ち、視野を広げる。

〈第1回〉日時・会場：平成30年4月14日(土) 14時～ 北方保育所(予定)  
対 象：施設長・主任保育士・副主任保育士  
研 修 科 目：副主任としての職責と担当業務、当法人の概要

##### 2. 円滑な園の運営と充実

- (1) 保幼小の連携では、小学校主体の交流となっているので、これまで以上に小学校へ働きかけ、子どもたちのための交流となるよう充実させていく。
- (2) 地域交流では、保育所の畑づくりを老人会の方々と一緒に行う。老人施設との交流では、施設の行事に参加するだけでなく、散歩時に子どもたちが出向き交流を行ったり、施設利用者の方が保育所に来所した際は、行事の観覧だけでなく、子どもたちとの関わりを行い、交流を深める。
- (3) 未就園児との交流(5～2月)「なかよしひろば」や陣原市民センターで行われる「ほのぼの子育て講座」へ保育士が出向き、遊びの提供や育児相談等を引き続き行う。

##### 3. エコ活動の取り組み

- (1) ペットボトルキャップやプルトップ等の回収で保護者が協力的なので、今後も引き続き回収を行う。
- (2) ということが『エコ』に繋がるのかを、子どもたちに気付かせ、実施していく。

#### 4. 修繕箇所

- (1) エレベーターの点検業者から制御基盤等の取り替え工事を本年度で行う必要があると報告があったため、本年度中に取替を行う。
- (2) 昨年、未満児クラス前デッキテラスのゴムチップ部分に剥離している箇所があったため修繕を検討していたが、北九州市と調整が出来ず実施できなかった。本年度で修繕が行えるよう北九州市と協議する。
- (3) 一時保育室と遊戯室の間にあるパーテーションが重く、天井のレール部分に変形しており、スムーズに開閉できないため、修繕を行う。
- (4) 未満児トイレの床に軋みがあり、床の張替と汚物洗いの台の取替を検討する。

#### 【平均児童数／4月入所予定児童数】

定員：120名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	14名	24名	22名	20名	19名	18名	117名
4月入所児童数	11名	25名	24名	22名	20名	18名	120名

#### 【一時保育利用状況見込数】

未満児		以上児		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
20件	40,000円	0件	0円	20件	40,000円

※ 通常保育の集団構成と異なることから、一人ひとりの子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するように心がける。

《職員配置》必要に応じて、日々雇用職員を雇用する。

#### 【延長保育利用状況見込数】

利用登録人数(年間)	100名	平均実利用者数	5名
------------	------	---------	----

※ 異年齢児の関わりを大切にした遊びを中心に、一人ひとりが安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、子ども達が心理的不安に陥ることのないよう遊びを工夫し保育を行う。

《職員配置》正規保育士・臨時保育士 各1名(ローテーション・時間外にて対応)

## 1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

## 2. 保育方針

乳幼児の精神的安定を図り、安全保育を重視した集団の中で一人ひとりを大切に健康で丈夫な身体を作る。

また、生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけさせ、日常の保育の中で思いやりのある意欲的な子どもに育てる。

## 3. 保育目標

- ① 明るく元気に、誰とでも仲良く遊べるようにする。
- ② 人を大切に思いやる、優しい心を育てる。
- ③ 自分の意志をはっきりと言い、相手の話すこともよく聞ける態度を育てる。
- ④ 生活習慣が身につき、自分で考えて行動できるようにする。
- ⑤ 感性豊かな創造性を育てる。

## ○ 保育内容

保育所保育指針を基に、年齢別の指導計画（年間、月間、週間）を立案し、子ども達に安定した生活と充実した活動ができるように、より良い環境の中で保育を進めていく。

また、様々な問題については、職員会議及び園内研修等で討議し、共通の理解のもとに諸問題に対応できるようにしていく。

## ○ 行事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 水遊び等は、事故防止対策をあらかじめ十分に検討し、実施する。園外保育については現地視察をする。
- ・ 遠足は、安全・体力面を考慮して目的を選択する。親子遠足では自然とふれあいながらも親子でふれあいの機会をもつよう工夫する。
- ・ 生活発表会や運動会においては、個性を考慮しながら一人ひとりを大切に、楽しく参加できるようにする。

## ○ 安全対策

- ・ 毎月1～2回、緊急事態（不審者侵入・住居やテナント火災等）を想定した避難訓練を行う。
- ・ 年1回は、市民センターや地域とともに消防署員立会いの基、総合訓練を行う。
- ・ 不法な侵害から子ども達を護るため、常に保護者と緊密に連絡をとり事故を未然に防止する対策をとる。
- ・ 警察署による交通安全教室・不審者への対応策の指導を受ける。
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・ 交通安全指導及び固定遊具や玩具の使い方の指導を行い、随時安全点検を行う。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際、必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・ 食中毒については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域、老人会の方々を招待または訪問し、世代間のふれあい活動を行う。
- ・ 卒園児を招き在園児と交流を深める。
- ・ 地域の在宅乳幼児を保育所に招き、在園児と一緒に遊びながら交流をもち、育児相談を受ける。2月には給食の試食会を行う。
- ・ 地区の行事（陣原市民センターまつり・敬老会・陣原秋祭り等）に参加する。
- ・ 小学校・中学校・高等学校の生徒の体験学習やボランティアの受け入れを行う。
- ・ 園児と近隣の幼稚園・小学校児童との交流や幼稚園教諭・小学校教諭との連携を図る。
- ・ 市民センターのほのぼの子育て講座で職員が親子のふれ合い遊び等の提携や育児相談を受ける。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

（保育時間を超える時間は、延長時間として対応）

○ 保育担当

担当保育士を定め、施設長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

○ 職員研修

- ・ 全国、県、市、区関係及び各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い相互研修を図る。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において、問題点を検討し共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽（専門機関からの研修等）を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

4. 保育担当者（別紙2の通り）

5. 保育設備

(1) 敷地	北九州市八幡西区陣原三丁目23番9-201号	738.66㎡
(2) 建物	鉄筋コンクリート10階建の2階部分	980㎡

6. 資金計画

通常経費は、

・委託費収入	・私的契約利用料収入	・補助金事業収入
・受託事業収入	・受入研修費収入	・利用者等外給食費収入
・その他の事業収入	・雑収入	・受取利息配当金収入

等によるものとする。

【 平成30年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	平成30年度 入所・進級式 平成30年度 進級児保護者説明会 固定遊具・施設の安全指導	全児・保護者 保 護 者 3歳以上児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内・園庭
5 月	こどもの日の集会 個人懇談（0歳児クラス） 健康診断 1回目 春の親子遠足 シルエット劇場 ごみ拾い 交通安全教室 陣原市民センターまつり 職員健康診断	全 児 0歳児保護者 全 児 全児・保護者 年 長 児 4・5歳児・亀山会(老人会)・地域住民 全児・折尾警察署 年 長 児 職 員	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 未 定 北九州芸術劇場 保 育 所 周 辺 保 育 所 内 陣原市民センター 保 育 所 内
6 月	個人懇談（2・3歳児クラス） 歯科検診 虫歯予防デー集会 保育参観・講演会	2・3歳児保護者 4・5歳児 全 児 全児・保護者	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内
7 月	プール開き 個人懇談（1・4・5歳児） 七夕まつり 卒園児同窓会 交通公園	全 児 1・4・5歳児保護者 全 児 卒 園 児 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 交 通 公 園
8 月	プール納め	全 児	保 育 所 内
9 月	老人ホーム訪問 ごみ拾い 運動会	年 長 児 4・5歳児 全児・保護者・未入所児 卒園児・亀山会(老人会)	老人ホーム「駅前ふくち」 保 育 所 周 辺 陣 原 北 公 園
10月	皿倉山登山 陣原秋祭り 秋の遠足	4・5歳児 年 長 児 0～2歳児 3歳以上児	皿 倉 山 旗 頭 神 社 近 隣 公 園 未 定
11月	健康診断 2回目 車椅子バスケットボール観戦 七五三集会 一日保育士体験 トロッコ列車・関門人道トンネル・唐戸市場 地域・老人会招待（ミニ発表会）	全 児 年 長 児 全 児 地域住民・保護者 年 長 児 全児・亀山会(老人会)・地域住民 近隣の介護施設・老人ホーム	保 育 所 内 総 合 体 育 館 保 育 所 内 保 育 所 内 門 司 港 レ ト ロ 保 育 所 内

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 2 月	生活発表会 カレークッキング クリスマス会 もちつき 小規模多機能型居宅介護事業所「駅前ふくち」のもちつきに参加	全児・保護者・祖父母 3歳以上児 全児・未入所児 全児・亀山会(老人会) 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 老人ホーム「駅前ふくち」
1 月	ホットケーキパーティー 環境ミュージアム・いのちのたび博物館	3歳以上児 4・5歳児	保 育 所 内 環境ミュージアム いのちのたび博物館
2 月	節分(豆まき) プラネタリウム見学 ちびっこ村：保育参加(給食試食会) なかよしひろば(親子で給食試食会) 個人懇談会(0・1・2・5歳児) 卒園・修了記念撮影	全 児 年 長 児 全児・保護者 祖父母・亀山会(老人会) 未入所児 0・1・2歳児・年長児保護者 全 児	保 育 所 内 児 童 文 化 科 学 館 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内
3 月	ひなまつり集会 お別れパーティー お別れ遠足 お別れ会 卒園式 修了式	全 児 全 児 全 児 全 児 3歳以上児・卒園児 保護者・亀山会(老人会) 0歳児から4歳児	保 育 所 内 保 育 所 内 未 定 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内

#### 1. 月例行事

- ・ 誕生会                      ・ 避難訓練                      ・ 身体測定                      ・ 園外保育                      ・ 体育教室
- ・ 定例職員会議              ・ 全職員細菌検査              ・ 給食関係、0歳児担当職員O-157検査
- ・ 毎月始めに園だより及びおすすめレシピ、中旬(19日)に食育だより、月末に給食献立表及を発行する。  
クラスだよりは、必要に応じて作成し配布する。

#### 2. その他

- ・ お泊り保育〔年長児〕                      ・ 消防設備点検(9月・3月)                      ・ 園内研修
- ・ 未入所児との交流(5月から2月まで) 毎月第3火曜日                      ・ 個人懇談
- ・ 穴生小学校・穴生幼稚園との交流                      ・ 小学校・中学校の体験学習受入
- ・ ボランティア体験学習受入                      ・ 老人会(亀山会)、介護施設、老人ホームとの交流
- ・ 2ヵ月に1回、地域住民へ保育所だよりを発行する。
- ・ 警察署からの指導(不審者・交通安全等について)
- ・ 消防署からの指導(消火活動・避難訓練について)
- ・ 事業協会 施設長定例会議及び事業協会主任保育士会議は必要に応じて開催する。

#### 3. 職員研修については、保育士と調理員の資質向上の為、一人でも多くの各種研修会に参加する。

#### 4. 地域の市民センター及び、育児サークル等の活動に積極的に参加し、子育て支援を行う。

#### 5. 陣原まちづくり協議会に参加し、地域との連携を図る。